

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 東九条のぞみデイサービス

1 施設の管理運営

○営業日 月～土曜日（但し、日曜日と12月31日～1月3日は休業日）
○営業時間 午前8時30分～午後5時30分
○サービス提供時間 午前9時～午後5時
○1日の利用定員 32名
○新人研修・中堅職員・管理者に対しての内部研修の実施
○職種に応じた外部研修受講と内部にて伝達研修の実施
○パンフレット配布や機関紙（月1回）発行による広報活動
○自主点検表を活用して（年1回）基準に即しているか点検、確認、見直しを行う。
（地域連携）
・近隣図書館の司書による紙芝居の読み聞かせや、ご利用者と共に図書館への外出
・京都市地域・多文化交流ネットワーク促進事業の一環とした東九条春祭りへの参加
・京都ダルクと連携を取り、庭の手入れやレクリエーションへのボランティア参加の依頼

2 事業実施内容

（1）指定管理業務（本来業務：老人デイサービスセンター）
上記の業務概要を基本として事業実施。送迎、食事提供、入浴のほか、個々に応じたレクリエーションや活動の場を提供している。
機能訓練においては指導員等が個別または小集団にて対応を行い、適宜メニューや目標の見直しをおこなう。
行事に関しては感染予防を考慮しつつ、クラフト教室やドライブ、喫茶や庭での畑作業などにご参加いただいている。
担当者会議、カンファレンスなど適宜参加。

（2）指定管理業務（企画提案業務：指定管理者が提案し、施設内で実施している業務。例：配食サービス）

自主事業の実施状況は、以下の通り。

3 サービス提供状況

管理者1名（兼）
生活相談員4名（兼） 機能訓練指導員4名（常勤1名、非常勤3名）
看護師3名（専従1名 兼務2名） 介護職員9名（内非常勤3名） 事務員1名
調理員：業務委託

再委託の実施状況（協定書に明記のない再委託業務）は、以下の通り。（例：給食調理業務）
・厨房業務
・リネン類のクリーニングとリース業務
・施設敷地内の害虫駆除

4 市内中小企業への発注に対する考え方

消耗品や備品などの発注に関して市内中小企業へ依頼している

5 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1)実利用者数

①令和7年度実績値 835 人

②令和8年度目標値 900 人

(2)延べ利用者数

①令和7年度実績値 6,641 件

②令和8年度目標値 6,840 件

(3) 収支実績

ア 本来業務（老人デイサービスセンター）

介護保険収入	56,753,939
利用料収入	4,842,455
委託料収入	0
補助金収入	320,000
寄付金収入	0
雑収入	31,040
その他	3,805,169
収入計	65,752,603

令和7年度収入状況及び支出の状況（単位：円）

人件費	49,194,035
事業費	8,054,013
委託費	5,254,016
小額修繕費	156,750
その他	4,177,636
支出計	66,836,450

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

令和7年9月実施。
サービスについて無記名にて3段階又は5段階評価、意見・要望欄あり
設問数15問 回収回答数 41名

(2) 利用者満足度把握の結果

・入浴ができないのであれば、体を拭いてほしいです。(家族様より)
・家に居るより時間が早く感じる様で喜んでいきます。お昼もお風呂も入れて頂きありがたいです。(家族様より)
・リハビリに対し効果がないと感じる(設問より)
・いつもお世話になりありがとうございます。職員の皆さんには親切にしてくださる、レクリエーションも楽しんでおります。お食事もおいしく楽しく通わせていただいております。(家族様より)

(3) 意見等への主な対応状況

・入浴提供の難しいご利用者に対しては、その危険性についてご家族へ説明をおこない、適宜清拭やドライシャンプーの対応をとっている
・リハビリに対しては毎月のリハビリ会議内でメニューや目標の見直し、外部講師を招いてのリハビリ研修を実施。指導員以外の職員もリハビリ提供時間以外に効果的な関わりが出来るように取り組んでいる

7 その他特記事項

(1)

おすそ分けの庭(ノガミツガーデン)を継続して整備している。また、ノガミツガーデンでは畑やプランターでご利用者と共に花や野菜作りを行い、収穫した野菜を昼食の一品として提供したり、料理レクリエーションを実施することで、より多くのご利用者にもお楽しみいただいている。

(2)

裁縫の得意な方を中心に、併設する老人ホームや近隣保育園から依頼を受けて、衣類の修繕やおまご用エプロンの作成をおこなっている。春には地域の祭りで手作りシュシュやポシェットなどを出品。たくさんの方に手に取っていただき、作成したご利用者にもやりがいを感じていただくことができた。

8 評価(指定管理者自己評価)

○昨年の年間平均利用者数は21.5人。月によっては規模の大きなイベントを開催することで臨時利用者も増加し、日平均22人を超える月もあった。全員参加のイベントだけでなく、裁縫や将棋などご利用者個人の特技や興味関心にフォーカスをあて、やりがいや達成感を感じていただけるような取り組みを増やしている。
○月1回のデイ機関紙の配布により広報活動を常時行うことが出来た。
○見学、お試利用の申し込みは随時受け入れを行っており、半日利用を再開したことでお問い合わせの件数も増えた。
○法人内研修、デイ内部研修、伝達研修を行うこと、また資格取得に向けたフォローを行うことで職員全体のスキルアップを図ることができた。
○キャリアパス制度により各職員が1年ごとの目標を明確に立てることが出来た。また、半年で1度見直すことにより出来ていない部分への修正を図り、学習、実行できるようになっている。
○これからもご利用者様の意見や感想に耳を傾けて、自立を尊重し職員一人一人が小さなことでも何ができるかを考えていく。

令和7年度指定管理業務に関する事業報告書
（地域包括支援センター併設の居宅介護支援又は、老人介護支援センター）

施設名 東九条のぞみ居宅介護支援

1 施設の管理運営

○営業日 月～土曜日（但し、日曜日と12月31日～1月3日は休業日）
 ○営業時間 午前8時30分～午後5時30分
 ○人員体制 管理者兼主任1名（主任介護支援専門員）、他担当職員3名（職種内訳：主任介護支援専門員2名、介護支援専門員1名）
 ○月間の利用定員 担当者当り 35名
 ○新人研修・中堅職員・管理者に対しての内部研修の実施
 ○職種に応じた外部研修受講と内部にて伝達研修の実施
 ○自主点検表を活用して（年1回）基準に即しているか点検、確認、見直しを行う。

2 事業実施内容

●居宅支援事業所として、高齢者が要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮して行うこととする。
 ・利用者の心身状況や環境に応じて介護保険サービスを利用するためのケアプランを作成。
 ・利用者の自宅に介護支援専門員が月1回以上訪問し、ケアプラン作成のためのヒアリングや状況把握。
 ・利用者と施設の衛生管理に努めるとともに、感染症の発生においてのまん延防止の処置を行う。
 ・虐待の防止の対策を検討する虐待防止検討委員会を設置、定期的な開催と内容を職員に周知徹底する。
 ・感染症や非常災害の発生時において、業務継続計画に基づき早期の居宅介護支援業務の再開を図る。

3 施設の利用状況（本来業務に係る施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など）

(1) 収支実績

本来業務		令和7年度収入状況及び支出の状況		（単位：円）	
介護保険収入	22,999,620	人件費	23,444,918		
利用料収入	0	事業費	3,409		
委託料収入	0	委託費	12,050		
補助金収入	293,600	小額修繕費	5,400		
寄付金収入	0	その他	692,923		
雑収入	0	支出計	24,158,700		
その他	61,730				
収入計	23,354,950				